

伊藤キム

Kim ITOH

ダンサー・演出家・振付家・伊藤キム & GERO 主宰。87年舞踏家・古川あんに師事。95年「伊藤キム+輝く未来」結成。96年フランス・バニョレ国際振付賞、02年第一回朝日舞台芸術賞・寺山修司賞、08年横浜文化賞奨励賞。05年にバックパックを背負って半年間の世界一周の旅に出る。おやじが踊って給仕する「おやじカフェ」のプロデュースを国内外で行う一方、小中高校生に振付をして作品上演するプロジェクトにも多数参画している。青山学院大学ワークショップデザイナー育成プログラム修了。15年新カンパニー GERO を結成。時にはダンス寄り、時には演劇寄り、また時には音楽や美術寄りと、作品ごとに方向性がどんどん変わるのが GERO の特徴で、劇場に限らずギャラリーや屋外などにも展開し、瀬戸内国際芸術祭、いちばらアートミックスなど各種芸術祭にも参加している。

所属カンパニー GERO
ホームページ <http://www.gero.kim>
E-mail gero.kim.2015@gmail.com
在住地 神奈川県横浜市
出身地 愛知県知立市



Photo: 鈴木穂庭

活動歴

1995年以降現在まで国内外で多数の実績あり。

4分で観られる伊藤キムのダンス！
街頭やビルの中、公園で踊ります！



ワークショップ歴

1995年以降現在まで国内外で多数の実績あり。

可能なワークショップ等のスタイル

アウトリーチ

①「学校ダンスジャック～伊藤キムがやってきた！」
昼食・給食の時間に伊藤キムが突然現れて校内でゲリラで踊りまくる。廊下を走る、教室に乱入する、運動場を走り回るなど。他のアーティストにはない強烈なインパクトで子どもたちに「非日常体験」をもたらす。午後のWSの前に行くとWSの進行がよりスムーズ。これまで小中高校で10回以上実施。

②「学校ワークショップ～遊びを通じて、考えながら動く」
日常的な動きを題材に頭と身体の両方を使うことで子供たちに新たな気づきを促す。

※上記ダンスジャック及びワークショップは、福祉施設などでも実施可能。

▶参加適正人数：①全校生徒、②5～80名
▶アシスタントの有無：1名必要

▶1日の実施可能回数・時間：①1回、②2コマ ※1コマ45分
▶必要機材等：①音楽など必要なし。②iPodを接続できる音響プレーヤー、ピンマイク
▶場所：①は会議室から体育館まで対応可能
▶その他：ワークショップのみの実施も可能

公募ワークショップ

①一般ワークショップ

年齢・性別・経験不問。

②女性限定ワークショップ

過去の例：衣装を持ち寄って変身体験。過去の参加者のアンケートより「男性がいらないから雰囲気がいい」

③男性限定ワークショップ

過去の例：後半は街頭に出て踊りながら街を練り歩く。参加者アンケートより「女性がいらないから思い切りバ

カになれる」

④演奏家対象ワークショップ

クラシック音楽の奏者が対象。呼吸や重心を意識することで演奏をより豊かにする。後半でダンサーとのコラボメニューもあり。参加者アンケートより「普段気づけない身体の『芯』を感じる事ができた」

⑤親子でワークショップ

音楽に合わせて思い切り動いてはしゃいだり、普段家庭ではできない身体の触れ合い遊びやコミュニケーションを実践。

▶参加適正人数：5～20名程度

▶アシスタントの有無：1名

▶1日の実施可能回数・時間：3コマ ※1コマ90分

▶必要機材等：iPodを接続できる音響プレーヤー

この事業で可能な公演スタイル

レパトリー作品

①「だれかがわたしをよんでいる」(ソロ作品)
見えない「なにか・だれか」に向かってしきりに何かを呼びかける男。でもそれは言葉ではなく、意味のない音やうめき声、ささやき、さげび、時には旋律に乗せた歌にもなり、演説にもなる。コミカルな一方、ヒリヒリするようなシリアスさも帯びたそのやり取りは、独りぼっちの人間と、周囲の環境との関係のありようを垣間見せる。伊藤キム独特の「身体と声をミックスした身体表現」を駆使した内容で、ユーモラスで切ない作品である。作品の上演前または上演後に、作品の内容を紐解くようなプレトーク・アフタートークを行うことも可能。

▶上演時間：30分

▶演出・振付・出演：伊藤キム

▶使用する会場、床の状態、スタッフは要相談

QRコードからスタジオ版をYouTube限定公開で観いただけます。



市民参加作品

上演するホール・場所の特性を生かし、かつ地域の事情も踏まえ、ホール担当者の意見を伺いつつ「どんな人たちをどんな場所まで連れていくのか?」といったことを考慮して作品イメージやタイトルなど考えていく。その地域の音楽家や美術家など、地元アーティストとのコラボも視野に入れたい。

▶出演者数：伊藤キム、GEROメンバーアシスタント兼任1～2名

▶同行スタッフ：舞台監督1名